図を埋め込むために

副題がここにくる

池口徹

tohru@ics.saitama-u.ac.jp

埼玉大学 大学院 理工学研究科 情報数理科学専攻 工学部 情報システム工学科

338-8570 さいたま市 桜区 下大久保 255

Tel: 048-858-3577, Fax: 048-858-3716

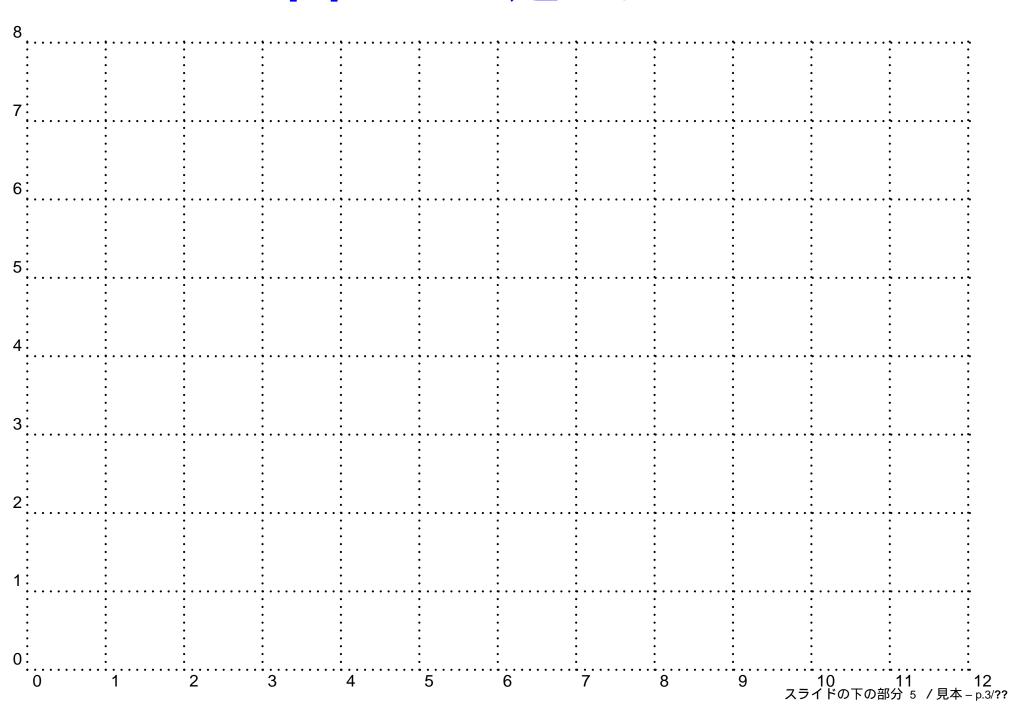
Email: tohru@ics.saitama-u.ac.jp

URL: http://www.nls.ics.saitama-u.ac.jp/~tohru

図を描く領域を設定する

- □ Prosper では,一枚のスライドを一枚のキャンバスと考えると便利です。
- □ サイズは12cm × 8cm
- □ pspicture 環境を用います。
- □ pspicture 環境ないで、\showgrid を用いると座標が描かれるので、図を埋め込むときも便利。
- □ 具体的には,次のスライドのソースを見てください.

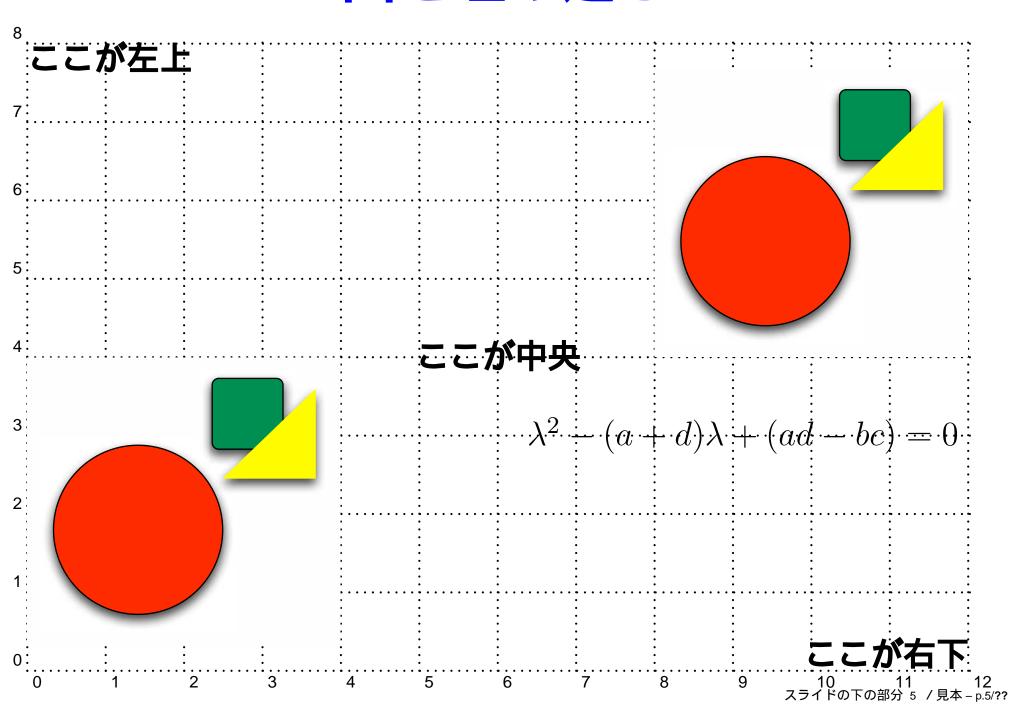
図を埋め込むには



図を埋め込む

- □ 埋め込みには, prosper というパッケージで使われる \rput を用いると便利
- □ 基本は \rput[lcrtb](x,y){埋め込みたいもの} とします.
 - x,y は埋め込む位置座標
- lcrtb は左,中,右,上,下の略です.x,yで指定した座標が埋め込むもののどの位置になるのかを指定.省略するとcとなる.
- □ 埋め込むものは,何でもOK
 - 文字 , (インラインの) 数式環境
 - 図のファイル,この場合は,\includegraphics を用いれば良いでしょう。
- □ 具体例は次のページのソースを見てください.

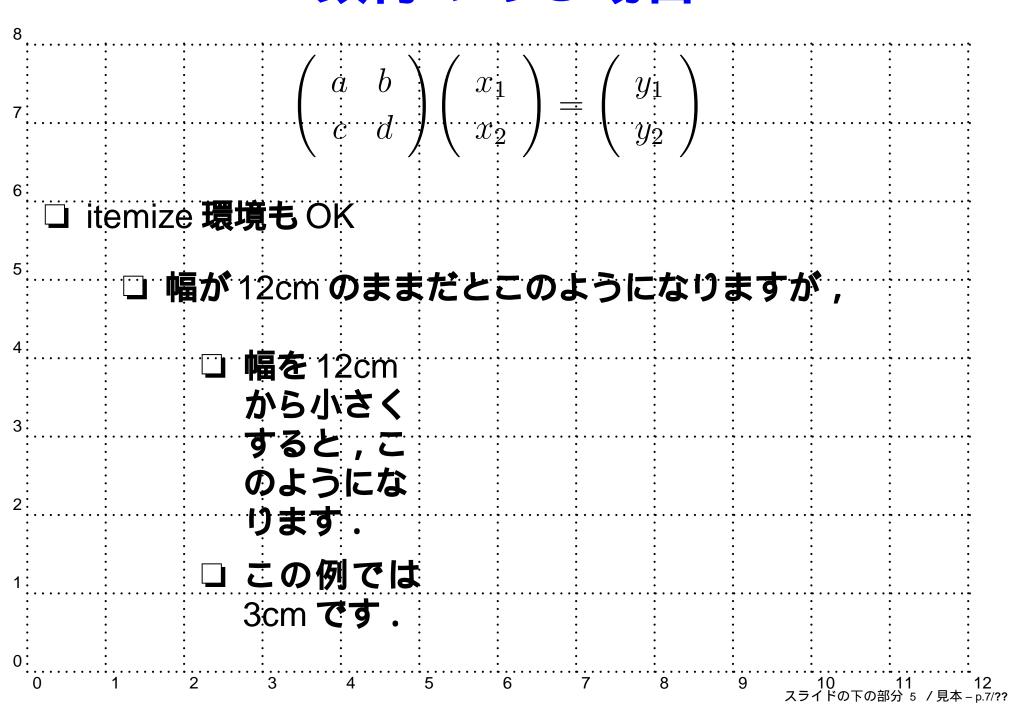
図を埋め込む



改行のある場合

- □ 以下のものを配置する場合は,少し工夫が必要です.
 - インラインでない数式
 - 数行にわたる文章
- □ この場合は,幅を指定して段落を作る \parbox 命令を用いると 良いでしょう。
 - \parbox[bct]{幅}{グルー}
 - bct は下,中央,上でそろえるという意味です.
- □ 具体例は次のページのソースを見てください.

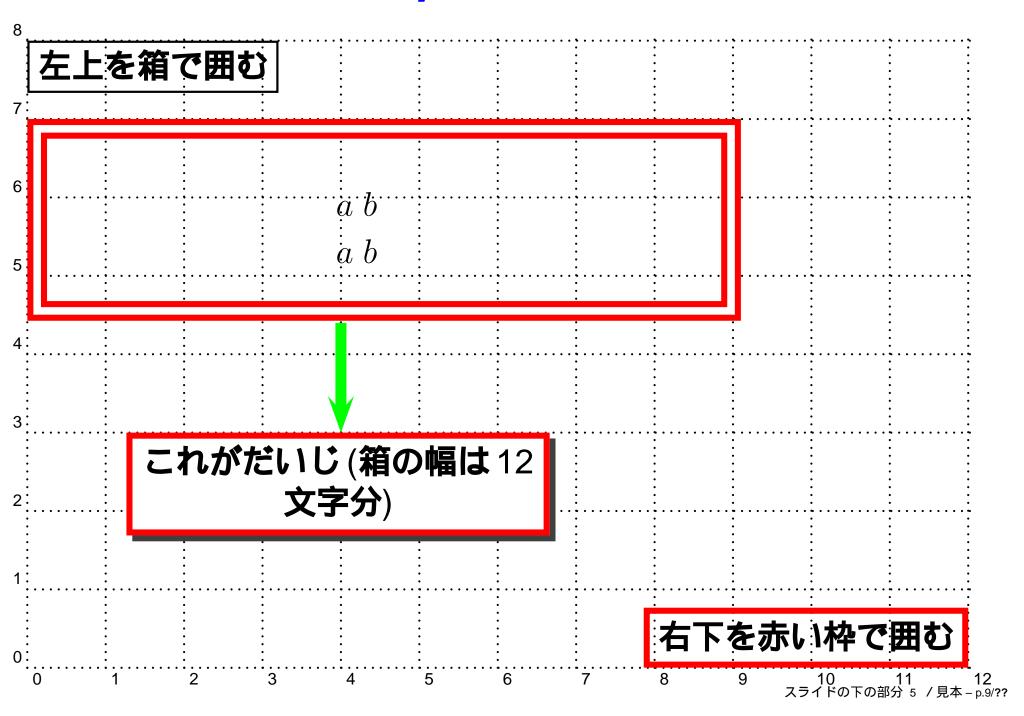
改行のある場合



箱、矢印など

- □ 強調したい部分などを箱で囲みたいときは, pstricks というスタイルファイルで用いられるいくつかの命令を用いると良いでしょう. pstricks は今はデフォルトでインストールされています.
 - 箱を書く \psframebox[オプション]{箱の中身}
 - 線を引く \psline[オプション]{属性}(x0,y0)(x1,y1)
 (x0,y0) 始点の座標 , (x1,y1) 終点の座標
- □ オプション例
 - linewidth=2pt
 - linecolor=red
- □ 属性例
 - C->
 - **-»**
 - C-C

箱,矢印など



アニメーション

□ slide 環境を \overlays で囲みます.

```
\ovarlays{n}{
\begin{slide}{sample}

\end{slide}
}
```

- □ n には,アニメーションの枚数が入ります.
- □ これに以下を用いると良いでしょう.
 - − \fromSlide{k}{内容 1}内容 1 が , 第 k 枚目より表示されます .
 - − \onlySlide{k}{内容 2}内容 2 が , 第 k 枚目だけ表示されます .
 - − \untilSlide{k}{内容 3}内容 3 が , 第 k 枚目まで表示されます .

